



取引ソフトウェア Markets-pro™ ユーザーガイド

チャート・ユーザーガイド Version 0.1



目次

1	はじめに	1
2	メインチャートウィンドウ	1
3	チャート	2
	3.1.1 情報表示	2
	3.1.2 現在値	2
	3.1.3 チャートの移動	2
	3.1.4 ズーム	2
4	チャートデータオプション	3
4.1	ビッド/オファー	3
4.2	表示期間	3
4.3	表示間隔	3
5	描画ツール	4
5.1	描画ツールの追加	4
	5.1.1 トレンドライン	4
	5.1.2 プライスチャンネル	4
	5.1.3 サポート、レジスタンス平行線	4
	5.1.4 マーカー	4
	5.1.5 アロー	4
	5.1.6 フィボナッチ	4
	5.1.7 サイクル	5
	5.1.8 ピッチフォーク	5
	5.1.9 楕円形	5
	5.1.10 長方形	5
	5.1.11 三角形	5
	5.1.12 ラフチャンネル	5
	5.1.13 スピードライン	5
	5.1.14 ギャンライン	5
	5.1.15 ギャンファン	5
5.2	複数の描画ツールの追加	6
5.3	描画ツールの編集	6
	5.3.1 編集または削除のアイコン	6
	5.3.2 右クリックを使う	6
5.4	描画ツールの削除	6
	5.4.1 編集または削除のアイコン	7



5.4.2	右クリックを使用	7
6	チャートオプション	7
6.1	チャートのコピー	8
6.2	チャートの保存	8
6.3	チャートの印刷	8
6.4	チャート表示オプション	8
7	アクションアイコン	8
8	チャートスタイル	8
9	スタディー	10
9.1	スタディーの追加	10
9.1.1	スタディーのリストから	10
9.1.2	スタディーマネージャーウインドウ	10
9.2	スタディーの編集	10
9.2.1	スタディー管理ボタン	11
9.2.2	既存のスタディーから	11
9.3	スタディーの削除	11
9.3.1	スタディー管理アイコン	11
9.3.2	既存のスタディーから	11
9.3.3	スタディーのリストから	11
10	オシレーター	11
10.1	オシレーターの追加	11
10.1.1	オシレーターのリスト	11
10.1.2	オシレーターマネージャーウインドー	12
10.2	オシレーターの編集	12
10.2.1	オシレーターマネージャーウインドー	12
10.2.2	既存のオシレーターを使用	12
10.3	オシレーターの削除	12
10.3.1	オシレーターマネージャーアイコン	12
10.3.2	既存のオシレーターから	12
10.3.3	オシレーターのリストから	12
11	設定	13
11.1	垂直グリッド線	13
11.2	水平グリッド線	13
11.3	破線	13
11.4	色のついたバー	13



11.5	拡張チャート.....	13
11.6	最終価格表示.....	13
11.7	ダイナミックライン.....	13
11.8	ツールチップを表示する.....	13
11.9	軸.....	13
11.10	カーソル.....	13
11.11	描画アシスト.....	14

1 はじめに

取引ソフトウェア **Markets-pro™**をご利用いただき、誠にありがとうございます。

Markets-pro™には、様々な情報をすばやく処理し、できる限り快適にご利用いただけるよう、様々な機能がチャートに用意されています。

Markets-pro™はリアルタイムデータや履歴データのテクニカル指標を数多く取り揃えています。当ユーザーガイドでは、**Markets-pro™**の様々なチャートの種類や仕組み、チャートの見方など、チャートが簡単に利用できるように説明いたします。

2 メインチャートウィンドウ



1. チャートデータオプション(セクション 4 参照)
2. 描画ツール(セクション 5 参照)
3. チャートオプション(セクション 6 参照)
4. アクションボタン(セクション 7 参照)
5. チャート (セクション 3 参照)
6. チャートスタイル (セクション 8 参照)
7. スタディー (セクション 9 参照)
8. オシレーター (セクション 10 参照)
9. 設定 (セクション 11 参照)

3 チャート

チャートの大半はチャートオプションのデータから成り立っています。

3.1.1 情報表示



情報スタイルが値ボックスに基づいて設定してある場合、マウスがポイントしている箇所の情報を表示します。

注 チャートにスタディーがある場合、それらのスタディーに関連するデータも表示されます。オシレーターがある場合、同様に数値が表示されます。

3.1.2 現在値






軸上の枠内の数値は現在値を表しています。価格が上昇すると緑色、価格が下落すると赤色で表示されます。

3.1.3 チャートの移動

チャートを移動するには、チャート内でクリックし、クリックして離さずにマウスを動かせば、チャートを移動できます。

3.1.4 ズーム

チャート下部にあるアイコンをクリックすると、チャートを拡大、縮小できます。

	リセット	最後に保存した状態に戻ります。
	ズームアウト	拡大します。
	ズームイン	縮小します。

注:マウスのスクロール機能で拡大、縮小できます。

4 チャートデータオプション



チャートオプションを利用すると、価格の期間、間隔、ビット、オファーの表示設定のデータを管理できます。

4.1 ビッド/オファー

初期設定でビット価格が表示されます。ツールバーでビット、オファーのいずれかを選択できます。



4.2 表示期間

日付表示期間ドロップダウンから、1日から30年の期間を選択できます。



4.3 表示間隔

ドロップダウンボックスから、1分から週足を選択できます。




注 表示期間、表示間隔の組み合わせにより、表示できないものもあります。例:5年チャートの最小表示は日足になります。

5 描画ツール



描画ツールにより、チャートをカスタマイズできます。トレンドラインやテキストラベルの追加、チャート上のオブジェクトの編集や修正などのカスタマイズが可能です。

5.1 描画ツールの追加

描画ツールを追加する場合、描画ツールアイコンをクリックします。
描画ツールの種類は下記をご参照ください。

5.1.1トレンドライン

- 描画ツールメニューからトレンドラインを選択。
- オプションメニューから希望するオブジェクトを選択。
- トレンドラインを表示するチャートをクリック。

5.1.2 プライスチャンネル

- 描画ツールメニューからチャンネルを選択。
- オプションメニューから希望するオブジェクトを選択。
- マウスをクリックして、線分の始点を設定。
- マウスカーソルを移動して再度クリックし、線分の終点を設定。

5.1.3 サポート、レジスタンス平行線

- 描画ツールから、サポート、レジスタンス平行線を選択。
- オプションメニューから希望するオブジェクトを選択。
- サポート、レジスタンス平行線を表示。

5.1.4 マーカー

- 描画ツールからマーカーを選択
- 買い、売り、もしくはテキストを選択。
- マーカーを表示したい箇所でマウスをクリック。

注: マーカーを右クリックしたら、項目の設定を選び、詳細設定が可能です。

5.1.5 アロー

- 描画ツールからアローを選択。
- アロウの向き、アップまたはダウンを選択。
- アローを表示したい箇所でマウスをクリック。

5.1.6 フィボナッチ

- 描画ツールからフィボナッチを選択。
- リトレースメント、ファン、アークス、タイムシリーズを選択。
- マウスをクリックして始点を設定。



- 再度クリックして、終点を設定。

5.1.7 サイクル

- 描画ツールからサイクルを選択。
- マウスをクリックしてサイクルの始点を選択。
- 再度クリックして、終点を設定。

5.1.8 ピッチフォーク

- 描画ツールからピッチフォークを選択。
- マウスのクリックを繰り返し、第1点、第2点、第3点を選択。

5.1.9 楕円形

- 描画ツールから楕円形を選択。
- マウスをクリックして楕円形の始点を選択。
- 再度クリックして終点を選択。

5.1.10 長方形

- 描画ツールから長方形を選択。
- マウスをクリックして長方形の始点を選択。
- 再度クリックして終点を選択。

5.1.11 三角形

- 描画ツールから3角形を選択。
- マウスのクリックを繰り返し、三角形の第1点、第2点、第3点を選択。

5.1.12 ラフチャンネル

- 描画ツールからラフチャンネルを選択。
- マウスをクリックしてラフチャンネルの始点を選択。
- 再度クリックして終点を選択。

5.1.13 スピードライン

- 描画ツールからスピードラインを選択。
- マウスをクリックしてスピードラインの始点を選択。
- 再度クリックして終点を選択。

5.1.14 ギャンライン

- 描画ツールからギャンラインを選択。
- サブメニューからアップラインまたはダウンラインを選択。
- マウスをクリックしてギャンラインの始点を選択。

5.1.15 ギャンファン




- 描画ツールからギャンファンを選択。

- サブメニューからギャンアップファンまたはギャンダウンファンを選択。
- サブメニューからギャンファンの始点を選択。

注:オプションが存在する場合、右側のサブメニューから選択することができます。選択するとチェックマークがつきます。

注:チャート内で、選択した描画ツールにマウスを当てると詳細情報が現れます。

5.2 複数の描画ツールの追加

複数の描画ツールを追加する場合、描画ツールアイコン()をクリックして、描画ツール固定アイコン()をクリックしてください。使用するツールにより異なりますが、描画ツールの追加前に実行してください。ツールの追加後、()アイコンをクリックすると解除されます。

5.3 描画ツールの編集

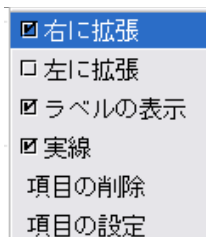
描画ツールの編集方法には2通りあります。描画ツールの編集または削除アイコンを使用、もしくは、ツール上で右クリックしてください。

5.3.1 編集または削除のアイコン



- 編集または削除アイコンから「編集」を選択するとマウスポインターからスクリーンドライバに変わります。
- 既存の描画ツールを選択。
- 詳細設定ウインドウで変更。
- 「終了」をクリック。

5.3.2 右クリックを使う



編集するツールを選び、右クリックで項目の設定をクリックし、詳細設定ウインドウ変更。

5.4 描画ツールの削除

描画ツールの削除方法には2通りあります。描画ツールの編集または削除アイコンを使用、もしくは、ツール上で右クリックしてください。

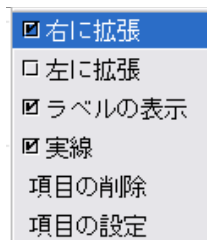
5.4.1 編集または削除のアイコン



- 編集または削除アイコンから「編集」を選択するとマウスポインターから X に変わります。
- 既存の描画ツールを選択。

注:すべて削除を選択するとすべての描画ツールを削除します。

5.4.2 右クリックを使用



削除するツールを選び、右クリックし、項目の削除を選択。

6 チャートオプション



6.1 チャートのコピー



コピー機能で他のアプリケーション (MS Word など) にコピーすることができます。「チャートをクリップボードにコピーする」のアイコンをクリックし、コピーを選択。

6.2 チャートの保存



「チャートをクリップボードにコピーする」のアイコンをクリックし、「画像を保存」を選択。

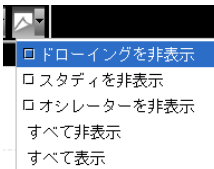
注: 画像は PNG ファイルとして保存されます。

6.3 チャートの印刷



「チャートをクリップボードにコピーする」のアイコンをクリックし、「印刷」を選択。

6.4 チャート表示オプション



「スタディと描画オブジェクトを非表示」をクリックし、それぞれのツールを表示、非表示にできます。

注: インディケーターを非表示にしても削除されることはありません。削除する場合、セクション 6 をご参照ください。

7 アクションアイコン



アクションアイコンを使うことにより、デスクトップなど他のアプリケーションにアクセスが可能になります。

- | | | |
|--|------------------|---------------------------------|
| | 新規注文 | 現在使用しているチャートに関連するオーダーチケットを開きます。 |
| | 価格アラートの作成 | 現在使用しているチャートに関連する価格アラートを作成できます。 |
| | チャートの表示 | 現在使用しているチャートに関連するチャートを表示します。 |
| | 関連ニュース | 現在使用しているチャートに関連するニュースを表示します。 |

8 チャートスタイル





チャートに追加できるスタイルは 12 種類あります。スタイルメニューをクリックすると表示されます。

ラインチャート

終値が線形で表示され、商品価格の上下を容易に把握できます。

バーチャート

始値/高値/安値/終値のチャート(通称バーチャート)は、一日の取引における 4 つの価格ポイントを垂直線で表示します。線の上下のポイントはそれぞれ高値と安値を意味します。左の横線は始値を、右の横線は終値をそれぞれ表します。

ローソク足

ローソク足はバーチャートと同じ情報を示すものですが、始値と終値の差が方形で表示されます。影またはヒゲと呼ばれる部分はその取引期間の高値と安値を意味します。方形部分の色はその取引日の終値が始値よりも高かったか低かったかを示しています。高い時は緑、低い時は赤になります。

平均足

平均足チャートは標準的なローソク足チャートと似ていますが、それぞれの線の意味が異なります。平均足の手法では、標準的なローソク足チャートの始値-高値-安値-終値(OHLC: Open-High-Low-Close)ではなく、終値-始値-高値-安値が用いられます。

$$\begin{aligned} \text{Close} &= (\text{Open} + \text{High} + \text{Low} + \text{Close}) / 4 \\ \text{Open} &= [\text{Open} (\text{previous bar}) + \text{Close} (\text{previous bar})] / 2 \\ \text{High} &= \text{Max} (\text{High}, \text{Open}, \text{Close}) \\ \text{Low} &= \text{Min} (\text{Low}, \text{Open}, \text{Close}) \end{aligned}$$

スキッター

数値は点で表示されます。

ステップ

ステップチャートは、データの増減を1本の線の屈折で表したもので、ある期間の値の変化を強調する場合に用いられます。その形状が階段状に見えることから「階段グラフ」と呼ばれることもあります。

マウンテン

チャート上の各ポイントの値が曲線で表示され、ピーク線より下のエリアが色付けされて「山脈」のように見えます。

非表示

チャートが非表示になります。チャートを非表示にしたいけれど、削除したくない場合に便利です。

ポイント& フィギュア

海外で使われている最も代表的な不規則時系列チャート。○や×などのポイントで表現され、①パターン分析②トレンド分析③カウンティング分析などを総合して相場動向を予想するものです。

練行足

不規則時系列チャート。カギ足と新値足をあわせたようなもので、転換ルールの決め方とトレンド転換の判定法はカギ足と同じで、トレンドの方向が変わらなくても、条件さえ満たせば次々に足を描き足していくという点は新値足に似ています。

カギ足

カギ足は「値幅足」ともいわれ、値幅の騰落を一本の線の屈折で表したものです

新値三本

日本でもっとも使用頻度が高い不規則時系列チャート。上昇局面であれば新高値、下降局面であれば新安値を意味します。これを3本逆行したらトレンドの転換となり、トレンドの判断に役立ちます。

注: チャートの種類にもよりますが、始値、終値、高値、安値などの表示されるデータの編集も可能です。

9 スタディー

スタディーには多数のテクニカル指標があり、Markets-pro™に複数のスタディーを追加保存できます。

9.1 スタディーの追加

チャートを作成したら、「クリックしてスタディを表示/非表示する」もしくは、「スタディを管理し、同じスタディのバリエーションを追加」で指標を追加できます。

9.1.1 スタディーのリストから

1. スタディの箇所のシャッターパネルをクリック(マウスを当てると、「クリックしてスタディを表示/非表示する」が現れます)。注: 一般的によく使われる指標はリスト上部にあります。
2. スクロールして、指標を検索。
3. 使用する指標を選び、クリック。

9.1.2 スタディーマネージャーウインドウ

1. スタディーの箇所の、「スタディを管理し、同じスタディのバリエーションを追加」をクリック。
2. 使用する指標を選び、クリック。
3. 使用する指標を選び、クリック。
4. ウインドウが現れるので、数値を編集し、「リストに追加」をクリック。
5. 「終了」をクリックし、完了。

9.2 スタディーの編集

スタディーの編集には2通りあります。

9.2.1 スタディー管理ボタン

1. スタディー管理アイコンをクリック。
2. 編集する指標を選択してクリック。
3. ウィンドウが現れるので、数値を編集し、「適用」をクリック。
4. キャンセルしたい場合は「キャンセル」をクリック。
5. 「終了」をクリックし、ウィンドウを閉じる。

9.2.2 既存のスタディーから

1. チャート上部に表記されている、既存のチャート名をクリック。
2. ウィンドウが現れるので、数値を編集し、「終了」をクリックし、ウィンドウを閉じる。

9.3 スタディーの削除

スタディーを削除するには3通りあります。

9.3.1 スタディー管理アイコン

1. スタディー管理アイコンをクリック。
2. 削除するアイコンをクリックし、「削除」をクリック。
3. 「終了」をクリックし、スタディーウィンドウを閉じる。

9.3.2 既存のスタディーから

チャート上の使用名の左側の「X」をクリック。

9.3.3 スタディーのリストから

1. スタディーのリストから削除する指標を選択。
2. 削除する指標の項目を選び、印を外す。

10 オシレーター

Markets-pro™にはテクニカル分析に役立つ複数のオシレーターを追加できます。

10.1 オシレーターの追加

チャートを作成後、目当てのオシレーターをオシレーターシャッターパネル、もしくはオシレーターマネージャーウィンドウの中から検索できます。

10.1.1 オシレーターのリスト

1. オシレーター箇所のシャッターパネルをクリック(マウスを当てると、「クリックしてオシレーターを表示/非表示する」が現れます)。
注: 一般的によく使われるオシレーターはリストの上部にあります。
2. スクロールして、オシレーターを検索。
3. 使用するオシレーターを選び、クリック。

10.1.2 オシレーターマネージャーウィンドー

1. オシレーターの箇所の、「スタディを管理し、同じスタディのバリエーションを追加」をクリック。
2. リストから目当ての指標を検索し、使用する指標を選び、クリック。
3. ウィンドウが現れるので、数値を編集し、「リストに追加」をクリック。
4. 「終了」をクリックし、完了。

10.2 オシレーターの編集

オシレーターの編集には2通りあります。

10.2.1 オシレーターマネージャーウィンドー

1. オシレーター管理アイコンをクリック。
2. 編集するオシレーターを選択してクリック。
3. ウィンドウが現れるので、数値を編集し、「適用」をクリック。
4. キャンセルしたい場合は「キャンセル」をクリック。
5. 「終了」をクリックし、ウィンドウを閉じる。

10.2.2 既存のオシレーターを使用

1. チャート上部に表記されている、既存のチャート名をクリック。
2. ウィンドウが現れるので、数値を編集し、「終了」をクリックし、ウィンドウを閉じる。

10.3 オシレーターの削除

オシレーターを削除するには3通りあります。

10.3.1 オシレーターマネージャーアイコン

1. オシレーター管理アイコンをクリック。
2. 削除するアイコンをクリックし、「削除」をクリック。
3. 「終了」をクリックし、オシレーターマネージャーウィンドウを閉じる。

10.3.2 既存のオシレーターから

チャート上部に表記されている、指標の左側の「X」をクリックして削除。

10.3.3 オシレーターのリストから

1. オシレーターのリストから削除する指標を選択。
2. 削除する指標の項目を選び、印を外す。

11 設定

11.1 垂直グリッド線

垂直グリッド線を引くことで、期間の範囲を区切ることができます。マウスをクリックして垂直グリッド線を表示/非表示にできます。

11.2 水平グリッド線

チャートに水平グリッド線を引くことができます

11.3 破線

破線を引くことができます。

11.4 色のついたバー

白黒、色のついたバーを選択できます。

注: すべてのチャートで色を外すことはできません。

11.5 拡張チャート

最終価格とY軸右側の間に間隔を空けることができます。

11.6 最終価格表示

最終価格を表示したくない場合、チェックマークを外してください。

11.7 ダイナミックライン

最終価格に合わせ、水平線が引かれます。

11.8 ツールチップを表示する

描画ツール使用、ツールチップが有効になります。マウスをチャート上の描画ツール上に置くと表記されます。

11.9 軸

下記の設定を用いて、Y軸の数値の変更が可能です。

常数スケール	数値を常数スケールで表示します。
基準スケール	数値をパーセント%で表示します。
対数スケール	数値を対数スケールで表示します。

11.10 カーソル

使用したいカーソルの種類を選択できます。

垂直	垂直線を表示します。
水平	水平線を表示します。
十字	十字線を表示します。
スライダ	2重垂直線を表示します。
なし	カーソルを非表示にします

11.11 描画アシスト

描画アシストで描画ツールの設定を行えます。

クローズ	クリックするとを一番近い箇所に描画ツールを設定します。
ハイ/ロー	クリックするとを一番近い高値もしくは、安値に描画ツールを設定します。
なし	描画アシストを無効にします。